



互理いちごっこ 課題とこれからの取り組み

《 課題 》

- ①助成金等に頼らない団体にしていくためには
- ②地域の中で個々に復興を目指す団体とどのように繋がっていくか
- ③被災地全域が底上げしていくためには

《 これからの取組み 》

①コミュニティ・ビジネスの立ち上げ

→ 罹災者・障害者・社会参加困難者・非罹災者、地域住民誰でも参加できる就労スペースの創出

②緩やかな実行委員会の立ち上げ

③個々の発信から、地域・広域地域・県・被災地全域の発信へ

→ 【被災地 Home Coming Day】の開催

→ 苦労苦悩の発信であり、成功事例等から学ぶ場としていく

《 今後必要とされる協力体制 》

I、自助努力による資金集めのための応援

II、支援であり被支援となり得る支援

→ 循環型支援

III、今被災地で努力されている様々な施策は、被災地だから必要なもの？

→ これから日本の様々な地域で課題となる要素

→ 後進的被災地が、実は日本の先進地